

【専門教育科目/看護の統合と発展】

科目名	ナンバリング	区分(必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
総合看護演習	NSP43_003	必修	1	4	後期
担当教員	研究室	電子メールID	オフィスアワー		
山崎 さやか 他	411	s.yamazaki	授業終了後に質問等受付		
授業の目的・概要	4年次までに講義・演習・実習で学んだ知識、技術を振り返る。また、それらを通して臨床推論力も養う。これらの総まとめを行うことで、自己の課題を明確にし、その課題を克服することで看護職者として必要な知識・技術・思考過程を身に付けることを目的とする。これまでの講義・演習・実習において獲得した知識の達成状況を確認するため、レポート課題、小テストを実施する。				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習) <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input checked="" type="checkbox"/> 実習 <input checked="" type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> 実技 <input type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> その他 () <input type="checkbox"/> 反転授業 <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク				
学習上の助言	演習には主体的に取り組むことを期待する。				
教科書	特になし				
参考書	特になし				
外部教材	特になし				
学生が達成すべき行動目標			関連卒業認定・学位授与方針		
①	看護に必要な知識と技術を身につけることができる。		NS(1)~(5)		
②	状況に応じた臨床判断能力をいかした看護実践を考えることができる。		NS(1)~(5)		
③	自己課題を明確にすることができる。		NS(1)~(5)		
④	自己課題に基づいて主体的に学習を進めることができる。		NS(1)~(5)		
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業方法	学習課題・学習時間(時間)		
1	9/17 オリエンテーション / 人体の構造と機能	講義・演習	講義に関連した課題を行う。	1	
2	9/24 小テスト① / 精神看護学	講義・演習	講義に関連した課題を行う。	1	
3	10/1 基礎看護学(1)	講義・演習	講義に関連した課題を行う。	1	
4	10/8 基礎看護学(2)	講義・演習	講義に関連した課題を行う。	1	
5	10/15 成人看護学(1)	講義・演習	講義に関連した課題を行う。	1	
6	10/22 成人看護学(2)	講義・演習	講義に関連した課題を行う。	1	
7	10/29 小テスト② / 小児看護学	講義・演習	講義に関連した課題を行う。	1	
8	11/5 母性看護学	講義・演習	講義に関連した課題を行う。	1	
9	11/12 老年看護学	講義・演習	講義に関連した課題を行う。	1	
10	11/19 小テスト③ / 疾病の成り立ちと回復の促進	講義・演習	講義に関連した課題を行う。	1	
11	11/26 在学看護学	講義・演習	講義に関連した課題を行う。	1	
12	12/3 看護の統合と実践	講義・演習	講義に関連した課題を行う。	1	
13	12/10 健康支援と社会保障制度	講義・演習	講義に関連した課題を行う。	1	
14	12/17 健康支援と社会保障制度	講義・演習	講義に関連した課題を行う。	1	
15	12/24 小テスト④ / まとめ	講義・演習	今までの講義を復習する。	1	
試	最終試験：1/14(火) 達成度評価・評価のポイントを参照				

【専門教育科目/看護の統合と発展】

		達成度評価						
総合評価割合(%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計	
総合力指標	知識・技術力	86	14	0	0	0	100	
	思考・推論・創造する力	66	5	0	0	0	71	
	思考・推論・創造する力	20	5	0	0	0	25	
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0	
	発表・表現伝達する力	0	4	0	0	0	4	
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0	
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	0	0	
問題を見発見・解決する力	0	0	0	0	0	0		
評価のポイント								
評価方法	行動目標	評価の実施方法及び注意点					フィードバックの方法	
試験	①	✓	今年度の模試に関連した記述式の小テスト(5点)を4回実施する(計20点)。					解答の提示および必要時解説を行う。
	②	✓	最終試験は1月14日に実施する模試の総得点300点を66点に換算する(最終試験の得点=模試の総得点×0.22)。					
	③	✓	公欠以外で小テストおよび最終試験を欠席した場合は、その時の実施した小テストまたは試験を0点とする。					
	④	✓						
レポート	①	✓	各講義に関連したレポート課題(1点)を14回実施する(計14点)。					解答例の提示および必要時解説を行う。
	②	✓	課題は講義終了後に提示する。次週の水曜日10時30分までに事務室の提出ボックスへ提出する。					
	③	✓	未提出、提出遅れ、内容の不備がある場合は、その課題を0点とする。					
	④	✓						
成果発表	①							
	②							
	③							
	④							
ポートフォリオ	①							
	②							
	③							
	④							
その他	①							
	②							
	③							
	④							
備 考								
他担当教員	◎ 望月 宗一郎 坂本 文子、梶原 睦子、森川 三郎、飯嶋 玲奈、小石川 好美、東福寺 愛実、馬淵 路子							
教員の実務経験	科目を担当する教員は臨床および教育に関する豊富な経験を有している。							
実践的授業の内容	看護職者としての経験を活かし具体的な事例や場面を交えながら、学生が想起できるよう国家試験問題を用いた授業を行う。							
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーションで注意事項等について説明するので、必ず参加してください。 ・授業中の私語は禁止します。また、指示がある場合を除いた携帯電話、スマートフォン等電子機器類の使用は禁止します。これら受講態度に問題があり、注意をしても改善が見られない場合は、退室してもらいます。 ・今年度の模試の解説本を毎回持参してください。 							